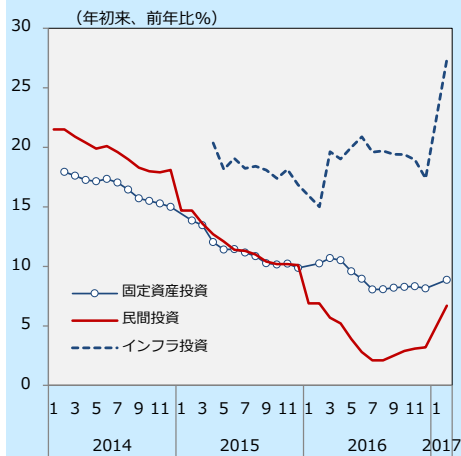


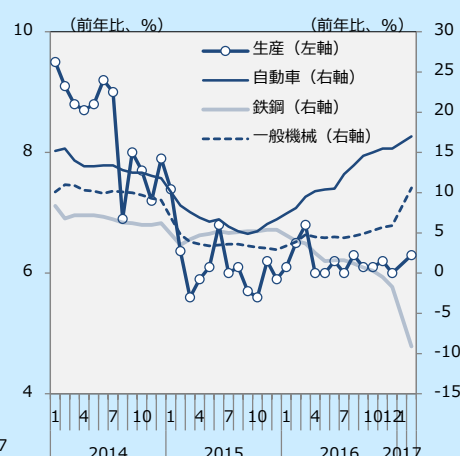
中国：2月の経済指標 —17年の中国経済の出だしは堅調—

MRI Daily Economic Points February 14, 2017

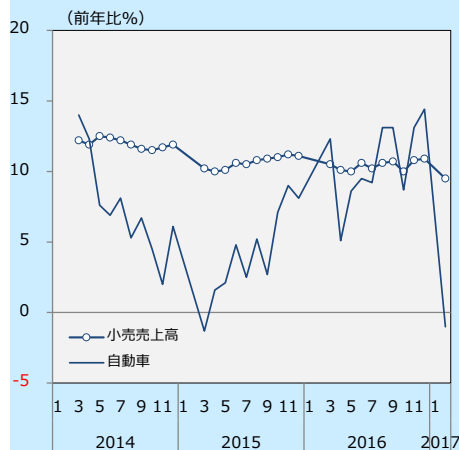
投資



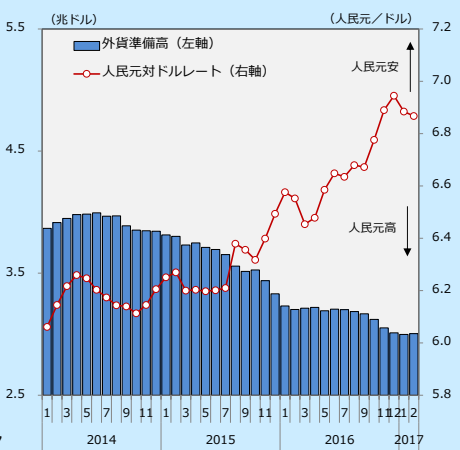
生産



小売売上高



為替と外貨準備



評価ポイント

今回の結果

- 17年1-2月の固定資産投資は、前年同期比+8.9%(16年1-12月：同+8.1%)と大きく上昇した。インフラ投資が同+27.3%と急上昇したのに加え、民間投資も同+6.7%と1年ぶりの高い伸びとなった。
- 1-2月の鉱工業生産は、前年同月比+6.3%となり、16年1-12月(同+6.0%)から上昇した。鉄鋼生産の減少幅が拡大するなど過剰生産能力の調整が続くが、投資の持ち直しに平行して一般機械などの生産が増加している。自動車生産も堅調に推移しているが、後述のように消費は落ち込んでおり、在庫の積みあがり懸念される。
- 1-2月の小売売上高は、前年同月比+9.5%と16年1-12月(同+10.9%)から伸びが鈍化した。小売売上高の減速は、政府による小型車減税縮減に伴い自動車の売上が同▲1.0%(16年1-12月：同+14.4%)と急減速したことが主因。
- 金融面では、昨年夏以降、個人や法人に対して外貨取引の規制を強化しており、対ドルで元安が一服している。一方、外貨準備は減少傾向が続いており、足元では3兆ドル前後で推移している。

基調判断と今後の流れ

- 中国経済は、小型自動車減税の縮減から消費の伸びが鈍化しているものの、投資が持ち直しに向かうなど堅調な出だしとなった。
- 全人代では、インフラなど有効投資の拡大を継続させるほか、企業の税や保険料負担軽減を中心に積極的な財政出動を継続することが表明され、今年も政府の政策が経済を下支えする構図は変わらないだろう。
- 一方、政府活動報告書では、17年の成長率目標を+6.5%前後とやや控えめな目標としているほか、企業のレバレッジ比率引下げを最優先課題とする旨が記述されるなどリスクを意識した記載も目立った。今年は、資金流出や資産価格上昇などに目配りしながら、経済の安定を最優先にした政策運営が見込まれる。